



消 防 運 第 34 号
平成17年11月14日

各都道府県国民保護主管部長 殿

消防庁国民保護運用室長



避難施設データベースの整備について（通知）

標記の件について、内閣官房副長官補（安全保障・危機管理担当）付内閣参事官（事態法制運用担当）から、別添「避難施設データベースについて（通知）」（平成17年11月11日付閣副安危第464号）のとおり通知がありましたので送付します。

なお、別添4にもあるとおり、指定した避難施設に係る国への報告については、別途連絡します。

（消防庁連絡先）

総務省消防庁国民保護・防災部防災課国民保護運用室
〒100-8927 千代田区霞が関2丁目1番2号

滝 補佐

宮脇 係長 (miyawaki-h@fdma.go.jp)

TEL：03-5253-7551, FAX：03-5253-7543

閣副安危第464号
平成17年11月11日

関係省庁避難施設担当課長 殿

内閣官房副長官補（安全保障・危機管理担当）付
内閣参事官（事態法制運用担当）

避難施設データベースの整備について（通知）

国民の保護に関する基本指針に定める「避難施設のデータベースの整備」について、避難施設について把握しておくべき標準的な項目及び入力様式を別添1～3のとおり定めたので通知します。

避難施設データベースの整備については、避難施設について把握しておくべき標準的な項目に従って、指定した避難施設に係る情報を各都道府県において取りまとめ、国に提出していただき、それを国において全国の避難施設のデータベースとして取りまとめ、各都道府県に配布することとしています。

これにより、各都道府県においては、その区域内の避難施設の指定状況だけでなく、周辺の都道府県の避難施設の情報を把握することが可能であり、平素から広域の避難の計画などの検討に役立つものと考えています。

避難施設データベースの整備の今後の流れについては、別添4のとおり予定しており、国への報告については改めてご連絡いたします。

なお、消防庁においては、本件について、各都道府県へ通知願います。

【連絡先】

内閣官房副長官補（安全保障・危機管理担当）付
参事官補佐 秋和
高山

電 話 03 - 3581 - 8485（直通）

F A X 03 - 3581 - 5671

避難施設データベースに盛り込むべき標準的項目

施設の名称

施設の所在地（郵便番号 / 市区町村名 / 町丁目名・番（番地）・号）

施設の連絡先（電話 / F A X）

管理者名

管理する担当窓口（名称 / 電話 / F A X）

収容人員（屋内（人） / 屋外（人））

避難施設の面積（屋内（㎡） / 屋外（㎡））

保有設備（トイレ、入浴・シャワー設備、給食設備、冷暖房設備、障害者用トイレ、エレベーター、スロープ）

構造（コンクリート造・その他、階数）

災害対策基本法上の避難場所としての指定の有無

非常用電源の有無

大型車両のアクセスの可否

備考（NTT 回線以外の通信設備の有無、ヘリコプター離発着可能な場所の有無、除雪機の有無など）

避難施設データベース記入要領

- 1 都道府県名（文字列 / 全角） 入力必須項目
最初のセルに記入していただければ、その他は記入不要です。
- 2 整理番号（文字列 / 半角） 入力必須項目
データ集約後、通し番号を半角数字で入力してください。
- 3 施設 入力必須項目
名称（文字列 / 全角）
「××市立 小学校」「××県立 会館」「財団法人××センター」のように施設の正式名称を全角文字で入力してください。
所在地
 - ・郵便番号（文字列 / 半角）
7桁の郵便番号を半角数字で入力してください。
例：「〒100-8968」であれば、「1008968」と記入してください。
 - ・市区町村名（文字列 / 全角）
市区町村名を全角文字で入力してください。
例：「東京都千代田区永田町1丁目6番1号」であれば、「千代田区」と記入してください。
 - ・町丁目名・番（番地）・号（文字列 / 全角）
町丁目名・番（番地）・号を全角文字で入力してください。
例：「東京都千代田区永田町1丁目6番1号」であれば、「永田町1丁目6番1号」と記入してください。連絡先 入力必須項目ではあるが、わかる範囲で可
 - ・電話、FAX（文字列 / 半角）
施設の電話番号、FAX番号を半角数字で入力してください。
例：「03-3581-0000」であれば、「0335810000」と記入してください。管理者名（文字列 / 全角）
施設の管理者の名称を全角文字で入力してください。
施設の管理者は、事実上の管理権を有している者全般を想定しています。例えば、公立の大学にあつては設置者である地方公共団体の長、大学以外の公立学校にあつては設置者である地方公共団体に設置されている教育委員会となります。基本的には防災基本計画における避難所・避難場所への対応と同様となります。

4 管理する担当窓口 入力必須項目

名称（文字列 / 全角）

当該施設を管理している担当窓口（担当部署）の名称を全角文字で記載してください。

連絡先 入力必須項目ではあるが、わかる範囲で可

・電話、FAX（文字列 / 半角）

担当窓口の電話番号、FAX番号を半角数字で入力してください。（わかる範囲で可）

例：「03-3581-0000」であれば、「0335810000」と記入してください。

5 収容人員 入力不要

・屋内、屋外

当該収容人員はあくまで避難の初期の段階の収容能力を示すものと考えています。データベース構築にあたっては、一人あたりの専有面積を2㎡として統一し、それにより収容人員を自動計算しますので、入力は不要となります。

なお、6「避難施設の面積」の欄で収容人員に供する面積が未確定な場合で、未確定欄に を入力した場合には、収容人員の欄は空欄になります。

6 避難施設の面積 入力必須項目

・屋内、屋外（数値 / 半角）

避難施設の面積のうち、屋内及び屋外の収容人員に供する面積を半角数字で記入してください。単位は（㎡）です。

なお、収容人員に供する面積が未確定な場合には、未確定欄に を付けた上で、建築物については当該建築物の延べ床面積を、広場、グラウンドなどについては、敷地面積を記入してください。また、施設の一部について、避難施設として利用する旨の同意を得た場合は、当該部分の床面積を記入してください。

7 保有設備（文字列 / 全角） 入力必須項目

・トイレ、入浴・シャワー設備、給食設備、冷暖房設備、障害者用トイレ、エレベーター、スロープ

例示の設備について、保有している場合は を、保有していない場合は×を記入してください。

8 構造（文字列 / 全角） 入力必須項目

・コンクリート造、その他、階数

施設の構造について、該当する方に を記入してください。鉄筋コンクリート造（RC）及び鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC）については「コンクリート造」として、木造、鉄骨造及び構造が不明なものは「その他」として整理してください。また、広

場、グラウンドなどについては、記入する必要はありません。

階数については、地上（F）階数、地下（B）階数を入力してください。

種々の構造の建築物が混在する場合にあっては、最も収容人員の大きくなる建築物の構造を記入してください。

9 災害対策基本法上の避難場所としての指定の有無（文字列 / 全角） 入力必須項目
災害対策のための避難所・避難場所として指定されている場合は を、指定されていない場合は×を記入してください。

10 非常用電源有無（文字列 / 全角） 入力必須項目
非常用電源を保有している場合は を、保有していない場合は×を記入してください。

11 大型車両のアクセスの可否（文字列 / 全角） 入力必須項目
避難施設に対する大型車両（大型バス等）のアクセスが可能であれば を、不可能であれば×を記入してください。

12 備考（文字列 / 全角） 入力必須項目
保有設備以外に、施設の特徴等について特に記述しておくべき情報がある場合のみ全角文字で記入してください。

【記入例】

- ・NTT 回線以外の通信設備の有無
- ・ヘリコプター離発着可能な場所の有無
- ・除雪機の有無 など

入力はエクセルファイルにて行い、上記（ ）内はエクセルのセルの入力形式を示しています。データの検索等に活用するため、入力形式の遵守をお願いします。

避難施設データベースの整備の今後の流れ

避難施設データベースについては、各都道府県において避難施設を指定する際に、データベースに盛り込むべき標準的項目を把握し、様式に従ってデータを整理していただくこととなります。

この整理されたデータについては、毎年定期的に（4月1日現在の状況を5月末までに）国にご報告いただき、国においてデータを取りまとめ、各都道府県にデータベースとして、毎年8月を目途に最新のものを配布することを予定しています。

なお、今回お示しした「避難施設のデータベースの入力様式」による第1回目の報告は、平成18年4月1日現在の把握状況について、平成18年5月末までに、ご報告をお願いします。整理された情報を平成18年8月を目途に提供する予定です。

消防庁においては、当該データベースの円滑な整備がなされるよう、今後、定期的に各都道府県から提出される避難施設に係る情報を、内閣官房へ提供し、また、内閣官房において整備した避難施設データベースの都道府県への配布についてご協力いただきますようお願いいたします。



